

日本液炭株式会社



事業概要

- ◆炭酸ガス・ドライアイス事業
 - ・炭酸ガス、ドライアイスの製造・販売
- ◆環境・衛生ガス事業
 - ・炭酸応用ガス(滅菌ガス、殺虫剤、文化財保存ガス、消火ガス)の製造・販売
 - ・その他各種工業ガス(消火ガス、冷媒ガス)や環境商材(アドブルー)等の販売
- ◆その他
 - ・各種自社製品の研究開発
 - ・関連商品や関連機器の設計・製造・販売
 - ・プラントの設計・管理

所在地

〒108-0014
東京都港区芝4-1-23 三田NNビル8階

電話番号

03-6722-2250

URL

<https://www.n-eco.co.jp/>

代表者名

代表取締役社長 遠藤 祐喜

設立

1925年6月21日(創業:1923年6月1日)

資本金

6億円

従業員数

389人

売上高

単独:396億円(2023年3月期)

(1)経営理念又は代表者メッセージ

ー経営理念ー

変革と挑戦。地球の未来に貢献する

ー経営ビジョンー

私たちは、再生利用ガスである「炭酸ガス・ドライアイス事業」と温暖化抑制や環境・衛生の改善に役立つ「環境・衛生ガス事業」を通じて、産業の発展と社会課題の解決に貢献し、豊かな暮らしと心地よい未来を実現します。

(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

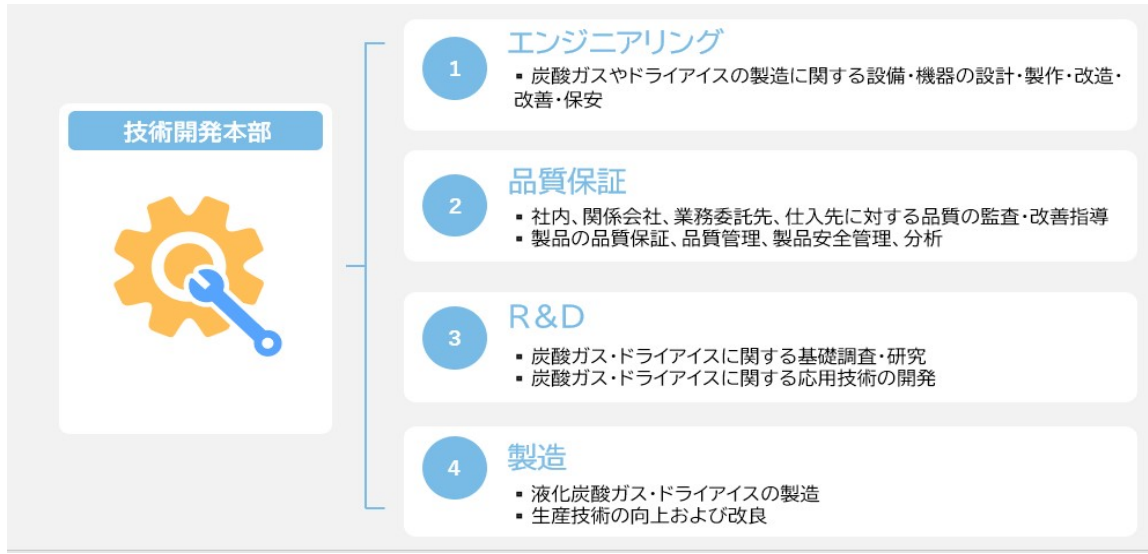
◇◇日本液炭はCO₂を有効利用し産業の発展と環境保全の両面に貢献する会社です◇◇

私たちの販売する炭酸ガスは、本来大気に放出されるはずのCO₂を排出源から回収し、それを原料に液化炭酸ガスやドライアイスなどを製造しています。製品となった炭酸ガスやドライアイスは建設業、製造業、運輸業、飲食業、医療、農業など、幅広い分野で使われ、私たちの暮らしを支えています。



②技術の用途と機能

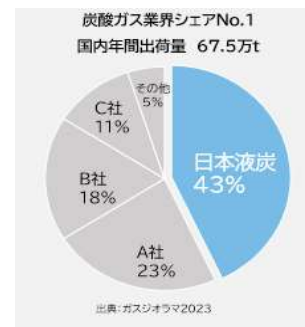
私たちが製造・販売する炭酸ガスは、産業活動から発生したCO₂を回収したりサイクル品であり、新たにCO₂を発生させないため、CO₂排出量”実質ゼロ”を可能にしカーボンニュートラル社会に貢献します。炭酸ガスを回収・圧縮する技術はもちろんですが、炭酸ガスを有効利用するための供給設備設計、炭酸ガスの新規用途開発など、技術開発部門では日々技術を磨いています。



③特徴・強み

◆炭酸ガス業界シェアNO.1

生産工場は全国にまたがり、その他にも炭酸ガスの引き取り権をもつ工場も数社抱えています。販売拠点も全国に配置しており、この生産・供給体制がお客様の安心感につながり、支持を得ています。



◆炭酸ガスに関する知見・技術力

- CCU・CCUS事業(炭酸ガスの回収・有効利用・貯蔵)への技術協力
- 炭酸ガスの新規用途開発・炭酸ガス供給機器の開発



開発例: 炭酸ガスハイドレート
炭酸水の約50倍以上の
高濃度二酸化炭素を含む固体

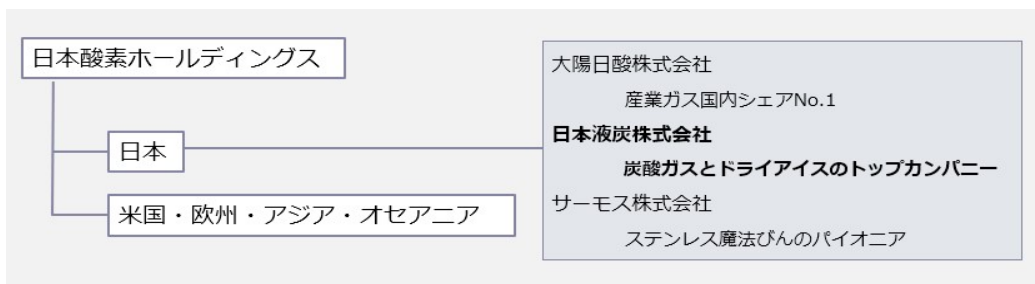
開発例: 高圧ガス保安法対応が
軽減される炭酸ガス気化装置



◆堅実な企業経営と安定的業績

汎用性の高い炭酸ガスは、多種多様な産業で必要不可欠かつ、安定的な需要があり景気動向に左右されにくいという特性があります。また当社は日本酸素HDという母体を有しており非常に安定的な企業経営がされています。
※日本液炭 創立以来、営業利益での赤字は一度もありません。

日本酸素ホールディングス 売上:1兆1,866億円 / 営業利益:1,195億円 ※2023年3月期



◆手厚い福利厚生

- 完全週休2日制(休日出勤の場合は平日に代休取得) 年間休日数:127日(2024年)
- 社宅制度(借上社宅) 独身社宅 : 自己負担8,000円/月 既婚社宅 : 自己負担350円×m²/月
- その他 続きは当社採用HPをご覧ください。

ホームページ

<https://www.n-eco.co.jp/>

